

令和 5 年度（2023 年度）

第 3 期豊中市食育推進計画年次報告書



えがおも
おいしい
おかずだね!!



今日の食事が、
明日のチカラ。

令和 6 年（2024 年）11 月

豊中市
Toyonaka City

■本報告書について

本市では、平成 30 年（2018 年）3 月に「第 3 期豊中市食育推進計画」を策定しました。

この計画は、食育基本法第 18 条第 1 項に基づく市町村食育推進計画で、「豊中市食育推進計画」、「第 2 期豊中市食育推進計画」を引き継ぐものです。

「食べることは、人の生き方そのものである」という視点から、市民だけでなく、地域や関係機関、事業者や生産者、行政などが連携し、ほんの少しずつの食育を実践することで、より健康で心豊かな生活の実現をめざす「とよなか食育プラスワン」に取り組んでいます。

本計画の効果的な推進を図るため、毎年度進捗状況を把握・点検し、評価・見直しを行うこととしております。

本報告書は、食育に関する令和 5 年度(2023 年度)の市内の取組み状況等についてまとめたものです。市民のみなさまや食育に携わる関係者のみなさまに、本市の食育推進の現状を知っていただくとともに、市民、地域、事業者や関係者の連携により、自然と食育に取り組める環境づくりをめざします。

現行の第 3 期豊中市食育推進計画期間は、平成 30 年度（2018 年度）～令和 4 年度（2022 年度）となっていました。が、国や都道府県、市の方向性の一致を図るため計画策定を 1 年延期し、令和 5 年度(2023 年度)までとしています。

豊中市食育推進計画のシンボルマークとキャッチフレーズについて

「市民一人ひとりが生涯を通じて健康で心豊かな生活ができることをめざす」豊中市食育推進計画の実現を図り、市民のみなさまに計画を身近なものと感じていただくために募集をしました。（平成 21 年度(2009 年度)）一般の部、児童の部から選ばれた作品です。（応募総数1,109作品）



シンボルマーク一般の部
松浦 知恵子さんの作品



シンボルマーク児童の部
新田小学校
上村 梨花さんの作品

今日の食事が、
明日のチカラ。

キャッチフレーズ一般の部
榎 寛子さんの作品

えがおも おいしい
おかずだね!!

キャッチフレーズ児童の部
南桜塚小学校
東 千咲季さんの作品

目次

1. 第3期豊中市食育推進計画 基本理念・目標・基本方針	1
2. 目標項目と目標値	4
3. 目標別主な取組みの実施状況.....	6
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	6
II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	6
III おいしく、楽しく、食事をしよう	7
IV 食べる物、食べることを大切にしよう	8
V 歯や口の健康を維持・増進しよう	9
VI 意識せずに食育を実践できる環境をみんなで実現しよう	9
4. 各事業の進行状況	10
基本目標別索引.....	10
食育推進計画 基本目標を実現するための方向性とめざす姿.....	11
令和5年度 食育推進計画関連事業一覧	12

1. 第3期豊中市食育推進計画 基本理念・目標・基本方針

豊中市の食育推進計画では、次の基本理念のもとで、「食べることは、人の生き方そのものである」という視点から、各ライフステージや一人ひとりのライフスタイルに合わせた食育を推進し、健康で心豊かな生活の実現をめざします。

食育への取組みが進む中で食育に関心を持つ人が増えている一方、全く関心のない人がいたり、望ましい食習慣を実践できている人がいる一方で実践したくてもできない人がいたり、市民の食育への意識や行動が二極化してきています。このような中、本計画では、一人ひとりの市民がほんの少しずつの「食育」の実践をすることで健康で心豊かな生活を実感できることをめざす「とよなか食育プラスワン」に取り組みます。

基本理念

『市民一人ひとりが生涯を通じて健康で心豊かな生活ができるように
「市民自らが食に関する正しい知識と食を選択する力を習得し、
健全な食生活を実践できる」ための食育を推進します』

本市における食の現状と課題を踏まえ、食育を推進していくため次の6つの目標と、目標を実現するための基本方針を立てています。

I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう

a. 食に関する知識の普及・啓発や情報提供

食に関する様々な情報が氾濫する中で、市民が食に関して正しい情報を取捨選択できるよう、様々な媒体や手段を通じて、普及・啓発、情報提供を行います。

b. 食育に関する正しい理解の促進

市民が食育に関して正しく理解し、それぞれに応じた食育を実践できるよう、相談・指導などを通じて、きめ細かく対応します。

c. 危機管理に対する情報提供と啓発

自然災害や食中毒、感染症などに対応できるように、情報提供と、日頃からの備えができるよう働きかけを行います。

d. 食育推進運動の周知啓発

市民・団体や事業者などが市内全域で様々な食育に対する活動を広げたり、深めたりできるよう、食育推進運動の周知を行います。

Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう

a. 幼年期における望ましい食習慣の形成

生涯にわたる食生活の基本を身につける幼年期に、望ましい食生活を確立できるよう、食に関する講習会や、認定こども園・保育所（園）・幼稚園などを通じて、それぞれの発達段階に応じた情報提供や相談を行い、実践を促進します。

b. 少年・若い世代における食の自立に向けた支援

子どもや若者が、自ら適切な食事を選んだり、準備したりすることができるよう、食に関する知識や簡単な調理方法について学ぶ機会を提供し、食の自立に向けて支援します。

c. 健康状態にあった食育の推進

各々の健康状態にあわせた講座や相談などにより、自分や家族にあった適切な食育の実践ができるよう支援します。

d. 調理技術や食に関する知識の習得

料理初心者の人や忙しい人など状況に合わせて、下処理済みの食材や中食などを活用した食事の準備方法や手軽にできるレシピなどの情報を提供したり、食に関する講座を行ったりして、自分で調理する機会が増えるよう支援します。

Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう

a. 交流を深める場や食事をする機会の提供

地域において、様々な世代が気軽に集い、交流できる場や、食文化などを伝えることができるような機会が増えるよう支援します。

b. 楽しい食事の促進

みんなで食事を作ったり、一緒に食事をしたりすることで、楽しく食事ができる機会が増えるよう支援します。

Ⅳ 食べる物、食べることを大切にしよう

a. 体験・機会の充実

家庭菜園や農業体験などによる生産者との交流や生産体験を通じて、食べる物や食べることを大切にする気持ちを育て、自然の恵みを理解できるような機会を充実させます。

b. 環境教育・環境学習の推進

食の生産から消費、廃棄までの食の循環を意識した情報提供やイベントなどを行い、現在の生活を見直し、食べ残しや手つかず食品の廃棄をできる限り減らすなどの環境に配慮した行動を促します。

c. 地産地消の推進

飲食店やスーパーへの働きかけやイベントなどを通じて、地元生産者や食材を知る機会を増やし、地産地消を促進します。

V 歯や口の健康を維持・増進しよう

a. 歯科疾患の予防と口腔機能の育成・維持・向上

個々の発達段階や、歯や口の健康状態を理解し、適切な健康づくりに取り組めるよう、相談機会の提供と支援を行うとともに、かかりつけ歯科医を持ち定期的な歯科検診を受けることの意義について普及・啓発を行っていきます。

b. 歯や口の健康づくりに関する情報提供と普及・啓発

歯や口の健康づくりに対する関心が深まるよう、様々な媒体やイベントなどを通じて、情報提供と普及・啓発を行っていきます。

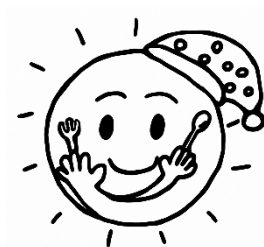
VI 意識せずに食育を実践できる環境をみんなで実現しよう

a. 適切な食を提供・選択するための環境整備

学校、事業者などと連携し、正しい情報の提供によって、健康的な食が提供される環境をつくれます。

b. 地域や関係団体等の活動支援や連携促進

食育に関する活動を行う人材の育成や団体の支援、ネットワークづくりを行い、誰もが無理なく取り組める食育の推進体制を整備します。



2. 目標項目と目標値

※1 「策定値」とは、計画策定時に実施した市民アンケートの数値

※2 「目標値」とは、計画策定時に設定した数値

目標		策定値 ※1 (平成 28 年)	目標値 ※2 (令和 4 年)
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう			
★食育に関心を持っている人の増加			
	幼年期(0～5 歳)の保護者	87.7%	95%
	少年期(6～15 歳)の保護者	86.0%	95%
	16～19 歳	46.8%	95%
	20 歳代	63.1%	95%
	30 歳代	72.8%	95%
	40 歳代	69.5%	95%
	50 歳代	61.3%	95%
	60 歳代	59.1%	95%
	70 歳代以上	59.9%	95%
★災害時に活用できる保存食や飲料をまったく備蓄していない人の減少			
	幼年期(0～5 歳)の保護者	18.4%	10%
	少年期(6～15 歳)の保護者	14.0%	10%
	16～19 歳	27.0%	10%
	20 歳代	20.9%	10%
	30 歳代	21.1%	10%
	40 歳代	21.7%	10%
	50 歳代	18.3%	10%
	60 歳代	14.1%	10%
	70 歳代以上	17.8%	10%
★塩分を抑えた食事を心がけている人の増加			
	20 歳代	58.8%	65%
	30 歳代	66.7%	70%
	40 歳代	71.4%	75%
	50 歳代	79.1%	85%
	60 歳代	81.5%	85%
II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう			
★朝食を食べる頻度が週に 2～3 回以下の人の減少			
	少年期(6～15 歳)	4.6%	0%
	16～19 歳	8.1%	5%
	20 歳代	21.9%	15%
	30 歳代(男性)	18.2%	15%
	40 歳代(男性)	20.1%	15%
★主食・主菜・副菜がそろった食事を 1 日 2 回以上摂っている人の増加			
	20 歳代	46.5%	70%
	30 歳代	52.8%	75%
	40 歳代	58.5%	80%
	50 歳代	59.9%	80%

目標		策定値 ※1 (平成 28 年)	目標値 ※2 (令和 4 年)
Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう			
★食事が楽しいと感じる人の増加			
	幼年期(0～5 歳)の保護者	80.6%	90%
	20 歳代	76.4%	85%
	30 歳代	81.8%	85%
	40 歳代	81.9%	85%
	50 歳代	77.2%	80%
	60 歳代	74.9%	80%
	70 歳代以上	63.1%	80%
Ⅳ 食べる物、食べることを大切にしよう			
★食べ残しを減らす努力を必ずしている人の増加			
	16～19 歳	62.2%	65%
	20 歳代	64.1%	65%
	30 歳代	57.3%	65%
	40 歳代	60.2%	65%
	50 歳代	65.7%	65%
	60 歳代	56.8%	65%
	70 歳代以上	57.8%	65%
Ⅴ 歯や口の健康を維持・増進しよう			
★かかりつけ歯科医を持つ人の増加			
	幼年期(0～5 歳)	39.5%	45%
	少年期(6～15 歳)	71.5%	75%
	16～19 歳	36.9%	40%
	20 歳代	30.6%	35%
	30 歳代	37.5%	40%
	40 歳代	41.5%	45%
	50 歳代	51.8%	55%
	60 歳代	52.7%	55%
	70～74 歳	68.0%	70%
	75 歳以上	61.0%	65%
★歯間ブラシ・デンタルフロスを使用している人の増加			
	16～19 歳	40.5%	50%
	20 歳代	42.5%	50%
	30 歳代	57.3%	65%
	40 歳代	64.3%	75%
	50 歳代	70.9%	80%
	60 歳代	62.2%	75%
	70～74 歳	64.9%	75%
	75 歳以上	50.9%	60%
Ⅵ 意識せずに食育を実践できる環境をみんなで実現しよう			
★健康的なメニューを提供する飲食店等の増加		3(※1)	増加
★「うちのお店も健康づくり応援団の店」登録店舗数の増加		467(※2)	520

※1 平成 30 年 1 月末時点

※2 平成 28 年度末時点

3. 目標別、主な取組みの実施状況

※新型コロナウイルス感染症による影響を受けているものがあります。

I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう

	事業名	内容	担当部署	令和3年度	令和4年度	令和5年度
I-b7	健康相談	生活習慣病予防など健康に関する相談に電話や面接で対応	健康推進課 (旧コロナ健康支援課)	262回 338人	548回 718人	700回 1,807人
I-b11	特定保健指導	特定健診を受診した結果、メタボリックシンドロームやその予備軍を判定した人に対し生活習慣改善のための特定保健指導を実施。	健康推進課 (旧コロナ健康支援課)	動機づけ支援 214人、 積極的支援 37人 計 251人	動機づけ支援 219人、 積極的支援 32人 計 251人	動機づけ支援 215人、 積極的支援 19人 計 234人
I-c4	インデックス付コンパクトサイズの『防災ガイド』の作成	自宅だけではなく、近所・遠方にいるときでも一定の災害対応が実施できるよう、「自助」をベースに災害対応をまとめた持ち歩き可能な啓発印刷物を作成し配布。	危機管理課 健康推進課 (旧コロナ健康支援課)	最新情報に更新し、9,000部作成	3,500部配布	3,500部配布
I-d1	食育プラスワンシート配布	食育に関心のある人もない人も無理のない範囲で簡単なことから食育を実践してもらえるように作成し配布。	健康推進課 (旧コロナ健康支援課)	栄養相談時に希望者へ配布	他課からの依頼 800部 + 栄養相談時に希望者へ配布	他課からの依頼 1,100部 + 出前講座・健康教育 213部

II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう

	事業名	内容	担当部署	令和3年度	令和4年度	令和5年度
II-a1	離乳食講習会	離乳食に関する知識・情報の提供	おやこ保健課	24回 300人参加	30回 375人参加	30回 361人参加
				23回 173人参加	30回 184人参加	30回 174人参加
II-a2	幼児食講座	幼児食に関する知識・情報の提供	おやこ保健課	オンライン講座 1回6人 講演会(web配信) 実施回数 3回、 総アクセス数 443件	オンライン講座 6回32人 講演会(web配信) 実施回数 2回、 総アクセス数 274件	オンライン講座 6回31人 来所型講座(1月より再開) 2回13人
II-b1	子どもの居場所づくり 文化クラブ「クッキング」	特定非営利活動法人北摂こども文化協会に事業委託。市内在住の児童生徒を対象に専門講師が季節の果物や野菜をもとに手作りおやつなどの講習及び調理など体験の積み重ね、食を営む基礎を育てる。	社会教育課 (青少年交流文化館いばき)	22回 延 76人参加	25回 延 118人参加	22回 延 156人参加

	事業名	内容	担当部署	令和3年度	令和4年度	令和5年度
Ⅱ-b6	学校給食センター職員による学校訪問	学校給食センター職員が市内の公立小学校を訪問し児童を対象に給食の話をするなどの交流を図っている。	学校給食課	新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし	希望する2校の学校への訪問を実施	希望する22校の学校への訪問を計41回実施
Ⅱ-c2	両親教室	初妊婦とそのパートナーを対象に沐浴実習などを実施。(助産師会に委託)	おやこ保健課	24回 延422人 (213組)参加 オンライン開催	24回 延680人 (342組)参加 オンライン型、来所型で開催	24回 延858人 (443組)参加 オンライン型、来所型で開催
Ⅱ-c7	地区健康教室 (出前健康教室)	健康に関するご希望のテーマを保健師、栄養士、作業療法士、歯科衛生士等が地域の会場に出向き、講演する。	健康推進課 (旧コロナ健康支援課)	40回 延411人	37回 延424人	53回 延1,136人
Ⅱ-d3	水道出前教室	小学4年生及びその保護者を対象に水道ができるまでの過程などを簡単な実験を行いながら説明。	上下水道局 経営企画課	実験器具の貸出し 35校3,029人 冊子のみ提供 6校643人	実験器具の貸出し 36校3,194人 冊子のみ提供 6校576人	実験器具の貸出し 29校2,742人 冊子のみ提供 11校989人

Ⅲおいしく、楽しく、食事をしよう

	事業名	内容	担当部署	令和3年度	令和4年度	令和5年度
Ⅲ-a6	世代間交流	(市の補助事業)世代をつなぐ学習や交流を促進する場。いも掘り、料理教室等を通して食文化の伝達と交流を行うプログラムを実施。	社会福祉協議会	19校区 63回 2,694人 新型コロナウイルス感染症の影響で実施校区減	25校区 98回 6,447人 新型コロナウイルス感染症の影響で実施校区減	34校区 163回 延べ参加 22,208人
Ⅲ-a7	ひとり暮らし高齢者の会食会	(団体自主事業)みんなで会食をすることで、孤立感を防ぎ、仲間づくりを実施。	社会福祉協議会	19校区 63回 2,694人 新型コロナウイルス感染症の影響で実施校区減	29校区 261回 708人(会員数) 新型コロナウイルス感染症の影響で実施校区減 キッチンカー等を利用	34校区 280回 延べ参加7,578人 ※テイクアウト方式やキッチンカー等を利用
Ⅲ-a9	子ども食堂	(子どもの居場所づくり地域福祉モデル事業) 子どもの生活習慣づくりなど、孤食の予防と居場所づくりなど、食事の提供により健やかな子どもの成長と地域のセーフティネットの体制を図る。	社会福祉協議会	3校区12回 172人	4校区78回 2,264人	食堂運営 5校区 延べ参加 4,697人 居場所として 4校区 延べ参加404人

Ⅳ食べる物、食べることを大切にしよう

	事業名	内容	担当部署	令和3年度	令和4年度	令和5年度
IV-a6	給食センターの見学受け入れ(市民向け)	給食センターの様子を見学。	学校給食課	非常事態宣言解除後に受け入れを開始したが、参加団体なし	小学校で12回施設見学を実施	給食センターで計23回施設見学を実施
IV-a8	自然と親しむ事業(小地域ネットワーク事業(市補助事業(市補助))	(小地域ネットワーク事業(市補助事業)の1つとして実施)いも掘り等の土に親しむ事業を校区の実情に合わせて実施	社会福祉協議会	7校区	7校区	5校区
IV-b10	フードドライブの実施	家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄りそれらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動。各種イベント等にて実施。	減量計画課	・地域イベント3回 合計 341.4 kg ・(株)ダイエー 市内3店舗、 コープこうべ市内3店舗、(株)光洋市内5店舗 で実施の総重量 4,097.8 kg	・地域イベント7回 合計 276.1 kg ・(株)ダイエー 市内3店舗、 コープこうべ市内3店舗、(株)光洋市内5店舗 で実施の総重量 5,930.9 kg	・地域イベント8回 合計 206.4 kg ・(株)ダイエー 市内4店舗、 コープこうべ市内3店舗、(株)光洋市内4店舗 で実施の総重量 6338.4 kg
IV-b13	みどりのカーテングづくり	市民との協働で行う豊中みどりの交流会において、小学校やこども園、授産施設等でみどりのカーテングづくり(ゴーヤの栽培)の取組みを支援。	公園みどり推進課	小学校29校 こども園・授産施設等 35施設	小学校30校 こども園・授産施設等 32施設	小学校25校 こども園・授産施設等 28施設
IV-b19	農体験学習	①希望する小学校等に出向き主に4・5年生を対象に野菜の植え付け・収穫、米作りなどの農体験学習を実施。 ②親子や児童等に「とよっぴー農園」において農体験学習を実施。	公園みどり推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	①7回、363人 ②45回、783人 (内33回、380人公園みどり推進課分)	①10回、308人 ②50回、790人 (内44回、626人公園みどり推進課分)	①21回、783人 ②63回、1,160人 (内52回、1,119人公園みどり推進課分)
IV-c3	堆肥『とよっぴー』使用野菜等の頒布	地産地消の推進を目的に堆肥「とよっぴー」を使って育てた野菜等の頒布。	公園みどり推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	49回 1,195人	36回 1,063人	69回 1,522人

V 歯や口の健康を維持・増進しよう

x	事業名	内容	担当部署	令和3年度	令和4年度	令和5年度
V-a3	歯科健診の実施	虫歯の早期発見、受診勧告を目的とした歯科健診を実施しています。	こども事業課 学校教育課	全園児・児童生徒に実施 (年1回)	全園児・児童生徒に実施 (年1回)	全園児・児童生徒に実施 (年1回)
V-b1	すくすくよい歯の教室	乳幼児期の歯科保健に関する知識の普及、啓発(講話や健診)。	おやこ保健課	24回236人 (オンライン開催含む)	26回234人 (オンライン開催含む)	24回206人 (オンライン開催含む)
V-b5	「口とからだの健康教室」	口腔衛生の啓発を目的に、歯と口の健康週間(6月4日から10日)にちなんで、小学校を会場に啓発イベント、学校歯科医による講演などを実施。	歯科医師会 学校歯科医会	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催中止	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催中止	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催中止
V-b6	よい歯の高齢者8020表彰	80歳以上で20本以上歯のある市民を対象に公募。受賞者を一同に会し表彰式開催。	歯科医師会	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、表彰式典は中止とし郵送による表彰 受賞者174名	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、表彰式典は中止とし郵送による表彰 受賞者269名	式典対象者を少人数に限定して表彰式典を再開。その他の受賞者へは郵送による表彰を実施。 受賞者223名。

VI意識せずに食育を実践できる環境をみんなで実現しよう

	事業名	内容	担当部署	令和3年度	令和4年度	令和5年度
VI-a2	血管プロジェクト(減塩協力店の募集)	「買ってきた惣菜やお弁当、外食で注文した料理がもともと塩分ひかえめで作られている」など、自然と減塩につながる環境づくりに協力いただけるお店を募集しています。	健康推進課 (旧コロナ健康支援課)	新規9店舗 累計87店舗	新規0店舗 累計87店舗	新規1店舗 累計88店舗
VI-a3	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発を行っています。 野菜たっぷりや、エネルギー控えめ等のヘルシーメニューの提供や、健康と環境にやさしい「ヘルシーオーダー」の実施等を推進しています。	健康推進課 (旧コロナ健康支援課)	新規1店舗 累計497店舗	新規0店舗 累計497店舗	新規0店舗 累計497店舗

4. 各事業の進行状況

基本目標別索引

I. 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	
a. 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	・ ・ ・ ・ ・ P.12
b. 食育に関する正しい理解の促進	・ ・ ・ ・ ・ P.20
c. 危機管理に対する情報提供と啓発	・ ・ ・ ・ ・ P.25
d. 食育推進運動の周知啓発	・ ・ ・ ・ ・ P.26
II. 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	
a. 幼年期における望ましい食習慣の形成	・ ・ ・ ・ ・ P.29
b. 少年・青年期における食の自立に向けた支援	・ ・ ・ ・ ・ P.33
c. 健康状態にあった食育の推進	・ ・ ・ ・ ・ P.35
d. 調理技術や食に関する知識の習得	・ ・ ・ ・ ・ P.38
III. おいしく、楽しく、食事をしよう	
a. 交流を深める場や食事をする機会の提供	・ ・ ・ ・ ・ P.39
b. 楽しい食事の促進	・ ・ ・ ・ ・ P.41
IV. 食べる物、食べることを大切にしよう	
a. 体験・機会の充実	・ ・ ・ ・ ・ P.41
b. 環境教育・環境学習の推進	・ ・ ・ ・ ・ P.44
c. 地産地消の推進	・ ・ ・ ・ ・ P.50
V. 歯や口の健康を維持・増進しよう	
a. 歯科疾患の予防と口腔機能の育成・維持・向上	・ ・ ・ ・ ・ P.51
b. 歯や口の健康づくりに関する情報提供と普及・啓発	・ ・ ・ ・ ・ P.53
VI. 意識せずに食育を実践できる環境をみんなで実現しよう	
a. 適切な食を提供・選択するための環境整備	・ ・ ・ ・ ・ P.54
b. 地域や関係団体等の活動支援や連携促進	・ ・ ・ ・ ・ P.56

食育推進計画 基本目標を実現するための方向性とめざす姿

基本目標	方向性	めざす姿
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	a. 食に関する知識の普及・啓発や情報提供 b. 食育に関する正しい理解の促進 c. 危機管理に対する情報提供と啓発 d. 食育推進運動の周知啓発	◆食生活・栄養バランスや、食中毒予防など、食に関する情報を正確に把握し、理解し、実践につなげる。 ◆災害時に活用できる食料や飲料水は普段から多めに備えておく。
II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	a. 幼年期における望ましい食習慣の形成 b. 少年・若い世代における食の自立に向けた支援 c. 健康状態にあった食育の推進 d. 調理技術や食に関する知識の習得	◆朝食を食べる習慣を身につける。 ◆乳幼児期から早寝・早起きなどの生活習慣を確立する。 ◆下処理済みの食材や中食などを活用しながら、主食・主菜・副菜のそろったバランスのよい食事を自分で用意できる。
III おいしく、楽しく、食事をしよう	a. 交流を深める場や食事をする機会の提供 b. 楽しい食事の促進	◆家族や仲間との食を通じたコミュニケーションにより、食事の楽しさを実感できる。 ◆家族との食事や世代間で食事を共にし、食事のマナーや伝統などについて子どもたちに食文化を伝えていく。
IV 食べる物、食べることを大切にしよう	a. 体験・機会の充実 b. 環境教育・環境学習の推進 c. 地産地消の推進	◆野菜などを育て、収穫し、調理することや、生産者との交流などを通じて、食べ物に感謝する気持ちを育む。 ◆買いすぎない、作りすぎないなどの「もったいない」の心を育み、食べ残しを減らす努力をする。
V 歯や口の健康を維持・増進しよう	a. 歯科疾患の予防と口腔機能の育成・維持・向上 b. 歯や口の健康づくりに関する情報提供と普及・啓発	◆むし歯や歯周病などの予防に加え、「食」を支える歯や口の機能の育成と維持・向上を図るため、各世代にあった歯や口の健康づくりの方法を身につけ取り組んでいく。
VI 意識せずに食育を実践できる環境をみんなで実現しよう	a. 適切な食を提供・選択するための環境整備 b. 地域や関係団体等の活動支援や連携促進	◆学校、地域、事業者などと連携して、食育に関心が低い人であっても、そこにいだけで自然と食育に取り組める環境をつくる。

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
I	a	1	広報とよなか	広報戦略課	月1回発行。全世帯と全事業所に配布しています。健康や福祉、環境、教育、人権、文化・スポーツなどの市政情報を提供しています。	発行数 月平均 207,308 部 うち食育関連お知らせ記事 205 件	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	2	市民公益活動推進のための情報提供	コミュニティ政策課	「市民公益活動支援センター」（庄内コラボセンター内）にて、市民の自主的・自発的な社会貢献活動（市民公益活動）に関する情報提供や相談等を実施しています。（運営は、公募により NPO 法人とよなか ESD ネットワークに委託）	市民公益活動支援センター来場者数 15,167 人 団体情報掲載団体数 149 団体	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	3	市民公益活動推進助成金	コミュニティ政策課	分野を問わず、公募により、市民公益活動事業に必要な経費の一部を助成。市民公益活動団体の自律的・継続的な発展を支援することにより、市内の市民公益活動全体の推進を図る制度です。	助成金交付事業数 13 事業 助成金交付額 1,995,000 円	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	4	技術・家庭科副読本「くらしのノート」	くらし支援課	消費者教育資料集（技術・家庭科副読本）「くらしのノート」を作成し、学校現場で活用を推進しています。豊中市食育推進計画に関する記述あり。	市内在学の小学5年生に配布 小学生版 4,200 部発行	継続			●							
I	a	5	生活関連物資課題調査	くらし支援課	（令和4年度より特定非営利活動法人とよなか ESD ネットワークに委託） 食料品、日用品等の生活関連物資について、テーマを設定し、社会や消費の課題について考えています。	実施タイトル：庄内「買い物探検隊」 買い物を通じて社会とのつながりを考えよう！ 参加人数：のべ 14 名 開催回数：2 回	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

令和5年度 食育推進計画関連事業一覧

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
I	a	6	くらしの情報	くらし支援課	消費生活情報誌「くらしの情報」を発行し、くらしかん及び市内公共施設で配布しています。	A4判 3,000部発行／2回 PDF判 発行／1回 点字版 B5判 12部発行／3回	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	7	くらしかんのホームページ	くらし支援課	くらしかんホームページにより、消費生活情報を提供しています。	市ホームページで消費生活情報を提供しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	8	くらしかん祭り	くらし支援課	消費者問題等を楽しく学んでもらうことを目的に毎年統一テーマを決め、様々な催しをくらしかん登録グループとともにくらしかん全体で行う消費者啓発イベントを開催しています。	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止していたくらしかんまつりを実施しました。 参加者：501人（食育関係はなし）	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	9	くらしの教員セミナー	くらし支援課	小中学校技術家庭科教員対象の消費者問題啓発講座（年2～3回）を実施しています。	食育関係講座を2回実施。 参加者：26人	継続			●		●	●	●	●		
I	a	10	消費者啓発講座	くらし支援課	①消費生活セミナー：消費生活の基礎知識を学ぶ講座 ②消費者月間行事：消費者月間の5月に消費者庁の統一テーマに沿って啓発事業を実施しています。 ③学校向けに啓発講座を開催しています。	①消費生活セミナー：2回（うち食育関係なし） ②消費者月間行事：1,220人 ③学校における啓発事業43回（1クラス1回でカウント）2,242人（うち食育関係 2回46人）	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

令和５年度 食育推進計画関連事業一覧

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和５年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
I	a	12	生活情報ひろば事業 (市民啓発業務等)	くらし支援課	(とよなか消費者協会に委託) 平成18年8月に制定した「豊中市の消費者のくらしを守る条例」に基づいて開設した「生活情報ひろば」において、くらしかん登録グループ主体による消費者啓発講座・展示等の中で、食に関する講座・展示を開催しています。	パネル展：12回 (うち食育関係4回) 地産地消イベント：12回 講座：6回	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	13	消費者活動の支援	くらし支援課	消費者団体について、登録制を実施し、定例会の運営や事業(リユースバザー・くらしかん祭り・講座等)を市と協働で行うことにより、活動の促進支援を図っています。また、使用申込を一般申込の3か月前から6か月前に優遇し、また「生活情報ひろば」を活動・交流の場として提供して活動の支援を行っています。	登録グループ8団体	継続					●	●	●	●	●	●
I	a	14	ホームページ 「食生活・栄養」	健康推進課 (旧コロナ健康支援課)	健康づくりを支援する環境づくりを目的に平成18年6月に立ち上げ、食育に関する情報の発信、「とよなかの自慢料理」の紹介等を行っています。	第3期豊中市食育推進計画、「とよなっカメレシビ」の掲載、減塩等について掲載し、情報発信しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	15	「食事バランスガイド」の啓発	おやこ保健課	食育講座などにより食事バランスガイドの啓発を行っています。	随時実施	継続	●	●								
I	a	16	情報誌等の発行	こども支援課 子育て支援センター	妊娠がわかってから就学前までの子育て情報を掲載した「子育て応援BOOK『みんなで』」を発行し、離乳食講座・食の講座の情報を提供しています。	「とよなか子育て・子育て応援BOOK『みんなで』」を発行し、妊娠期から子育て期における手続きや支援制度・子どもの健康・地域の子育て支援等の情報を提供しました。	継続	●	●								

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期（妊娠期）	幼年期	少年期	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
I	a	17	子育て支援ホームページの充実	こども支援課 子育て支援センター	豊中市ホームページにおいて、子育てに関するさまざまな情報を公開するとともに、最新情報を定期的に更新しています。	豊中市ホームページにおいて、子育てに関するさまざまな情報を公開するとともに、最新情報を定期的に更新しました。	継続		●								
I	a	18	子育て支援センターほっぺ事業	こども支援課 子育て支援センター	①地域子育て支援センターを統括する中核施設として、子どもの視点に立った子ども施策の企画調整、子育て・子育て情報の受発信や相談、子育て講座、地域の子育て支援する人材の育成等を行い、さまざまな子育て・子育て支援活動をサポートしています。 ②地域福祉計画の保健・福祉・医療の関係機関と連携して全市的な子育て支援のネットワークづくりを進めています。	食に関する相談や情報提供等を適宜実施しています。	継続		●								
I	a	19	公立こども園地域子育て支援センター事業	こども事業課	16ヶ所の地域の子育て拠点施設として、子育て相談、情報提供、遊びや交流の場の提供等を行っています。	公立こども園地域子育て支援センター16か所及び地域子育て支援連携園8か所の計24園にて、食に関する相談や情報提供、おやつ講座（自園調理の施設のみ）、離乳食講習会等を適宜実施しています。	継続		●								
I	a	20	関連資料提供、読書振興	読書振興課・図書館	①食育に関する図書や資料・情報の収集と提供・相談を行っています。 ②食育への関心を深めていくため関連資料の展示などを行っています。 ③食育に関する講座・イベントで、テーマや参加者層に応じて関連図書の紹介や貸出を行っています。	『食育コラボ みんなでは・は・は』のイベントにおいて、食に関連する資料の展示を行いました。	継続		●			●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
I	a	21	食に関する情報発信 「びよびよ（離乳食の進め方）」「食育だより」等	公立こども園 こども事業課	レシピや食べ物に関する情報などを通じて、保護者に食育の重要性を伝えています。	随時配布 給食予定献立表の中に各園での食に関する情報（食材紹介や季節の行事など）を記載しています。 給食で人気のあるレシピを自由に持ち帰れるようにしています。	継続		●								
I	a	21	食に関する情報発信 「びよびよ（離乳食の進め方）」「食育だより」等	豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園・豊 中市民間保育園連合 会加盟保育園・豊中 市認定こども園協議 会加盟園	レシピや食べ物に関する情報など管理栄養士等による記事を通じて、保護者に食育の重要性を伝えています。	毎月の献立表の中に、食材紹介やレシピ、バランスの良い食事、また季節の行事食などを「食育・給食だより」を発行して情報を提供しています。また、「離乳食のすすめ方」等、食育にかかわる記事の配布やブログ・HP等での情報提供を行っている園もあります。	継続		●								
I	a	22	保護者向けに発行する通信	豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園・豊 中市民間保育園連合 会加盟保育園・豊中 市認定こども園協議 会加盟園	レシピや食べ物に関する情報など管理栄養士等による記事を通じて、保護者に食育の重要性を伝えています。	毎月の献立表の中で季節の食材紹介し、季節毎の行事を通じて行う行事食や食育について紹介するお便りや、園の食育活動を通して子どもたちの様子を掲載した記事の発行やブログ・HP等で日々の食育活動の様子や誕生祭で食べる和菓子の説明などを発信している園もあります。	継続		●								
I	a	23	給食の献立表等の保護者への配布	公立こども園	毎月給食予定献立表を保護者に配布。	月1回配布	継続		●								
I	a	23	給食の献立表等の保護者への配布、配信	学校給食課	毎月給食予定献立表を配布、配信。	（4月～8月）紙のみ 月1回約33,000枚配布 （9月10月）電子への移行期間 月1回約33,000枚配布＋電子献立配信 （11月～3月）電子のみ 月1回電子献立配信	継続			●							

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
I	a	23	給食の献立表等の保護者への配布	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園・豊中市民間保育園連合会加盟保育園・豊中市認定こども園協議会加盟園	毎月給食予定献立表を配布。	毎月配付しています。なお、離乳食及びアレルギーのある園児には別メニュー（成分表・食品代替表も含めて）を配付し、除去・代替食で対応することを確認しています。	継続		●								
I	a	24	給食だよりの配布	児童発達支援センター・児童発達支援事業所あゆみ	給食予定献立、食育に関する情報を掲載した給食だよりを配布しています。	月 1 回配布	継続		●								
I	a	26	レシピの発行	児童発達支援センター・児童発達支援事業所あゆみ	給食の中から、家庭で作りやすいようにアレンジしたレシピを発行しています。	随時実施。	継続		●								

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
I	a	27	小中学校給食ホームページ、学校給食課公式Instagram、教育委員会公式Xの配信	学校給食課	①献立表の掲載 ②毎日の献立を画像付で紹介 ③給食メニューのレシピ紹介 ④食育イベント等の紹介 ⑤食育動画、食育情報の発信 ⑥食育イベント等の報告	ホームページ ①給食実施日（193日／年）のA・B献立表の掲載 学校給食課公式Instagram ②毎日の献立を画像付で紹介（A・B193日分）、献立カレンダーの掲載（10月～3月） ③給食メニューのレシピ紹介（6件） ④食育イベント等の紹介 ⑤食育動画、食育情報の発信 ・食育動画（2件） ・食育の日（7件） ・その他食育情報（14件） 教育委員会公式X ⑥食育イベント等の報告	拡充		●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	28	こども園地域活動事業	公立こども園	園庭開放、誕生会、身体計測、年間行事、高齢者との世代間交流、育児講座、赤ちゃんサークル等を行っています。	地域の子育て家庭対象に園庭・プレイルーム開放（平日）、誕生会・身体計測、子育て講座、食育講座・講習会、サークル活動、育児相談（電話・面談）等を実施しました。手作りおやつ講座や離乳食講習会において、食に関する相談や保護者同士の情報交換の機会を設けているほか、園開放をはじめとする各種とりくみは同年代の子どもを持つ保護者の交流の場となっています。	継続	●	●			●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期（妊娠期）	幼年期	少年期	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
I	a	28	こども園地域活動事業	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園・豊中市民間保育園連合会加盟保育園・豊中市認定こども園協議会加盟園	園庭開放、誕生会、発育測定、年間行事、高齢者との世代間交流、親子教室、赤ちゃんサークル等を行っています。	コロナが5類になったことに合わせて、少しずつ行事の一部を戻して実施している園が出始めています。コロナ以外の感染症に対して十分注意して実施するように心がけるようにしています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	29	教室向け給食だより等の発行	学校給食課	毎月、教室掲示用に給食だより「もぐもぐ」（小学校）、食育メモ（小学校）、食育だより（中学校）、献立カレンダー（栄養・食品に関する説明入り）を発行しています。また、食育動画を配信しています。	（小学校） 給食だより「もぐもぐ」、献立カレンダーを月1回各クラスに1枚ずつ配布しました。また、食育動画を毎月配信しました。 （中学校） 食育だより、献立カレンダーを月1回各クラスに1枚ずつ配布しました。また、食育動画を年2回配信しました。	拡充			●							
I	a	30	お弁当づくりの冊子	学校給食課	お弁当づくりの冊子をホームページに掲載しています。	電子化を進めるため、R4年度は移行期間として各校へ45冊ずつの配布とし、紙媒体での配布を終了しました。但し、今後も豊中市HPへの掲載を続け、C4th書庫へも継続して保管しています。	継続			●							
I	a	31	子育てサロン	豊中市社会福祉協議会	（市補助事業） 親の出会いの場・学習・交流の場づくりとして、校区福祉委員会と民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行っています。	39校区 450回 延べ参加 8,444人	継続		●	●							

基本 目標	基本 方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施 状況 R5	対象となる年代									
								胎 児 期 （ 妊 娠 期 ）	幼 年 期	少 年 期	16 ～ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
I	a	32	ふれあいサロン	豊中市社会福祉協議会	（市補助事業） なかまづくり・健康増進、いきがいづくりの場として開催校区福祉委員会民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行っています。	39 校区 1,041 回 延べ参加 18,684 人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	33	地域子育て支援事業	豊中市社会福祉協議会	（市補助事業）①わいわい子育てミーティングを開催しています。②子育てサークルマップを作成しています。③校区福祉委員会での子育て支援活動（小地域福祉ネットワーク活動）を進めています。	①開催せず ②作成せず。とよふぁみ母子モに移行 ③39 校区 450 回 延べ参加 8,444 人	継続		●								
I	a	34	校区健康教室	健康推進課 （旧コロナ健康支援課）	健康づくり推進員がその居住する小学校区において実施する健康教室で、食育や口の健康に関するテーマも取り上げています。校区福祉委員会・公民分館・老人会等と共催したり、講師を市や保健所の専門職員以外に地域住民にお願いしたり、小学校や地区会館で行ったりと、地域に密着して行っています。	健康づくり推進委員会 ・校区数：7 校区 推進員数：58 人 校区健康教室 ・実施回数：29 回 参加者数：499 人 校区健康づくりサポート事業 ・実施回数：88 回 参加者数：5,226 人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	b	2	母子健康手帳交付時の指導	おやこ保健課	母子健康手帳の交付の機会を通じ、医療職がすべての妊婦と面接することにより個々の妊娠・出産・育児などに関わる不安や悩みを把握し、必要な保健指導や諸サービスの紹介などの援助を行っています。	妊娠届出数 2,915 人	継続	●									

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
I	b	3	妊産婦・乳幼児等電話面接相談	おやこ保健課	①妊産婦・乳幼児の保護者等の電話等による相談に対して、保健師、栄養士、歯科衛生士、助産師等が相談に応じています。（平成 22 年 6 月から「妊娠出産子育て総合相談窓口」を開設し、関係機関との連携もはかります） ②健診後に育児状況など確認が必要と思われる対象者に対し保健師等から電話による保健指導を行っています。	妊娠出産子育て相談窓口 相談数延 24,551 件	継続	●	●								
I	b	4	育児相談	おやこ保健課	①各健診や電話相談などで相談を希望したり、必要と思われる対象者に案内し、3会場で1～2回／月ずつ実施。保健師・栄養士・保育士が相談に応じます。 ②地域の校区福祉委員会や保育所などと連携した地区育児相談を実施しています。	72 回実施、相談数延 586 人	継続		●								
I	b	5	妊産婦・乳幼児等訪問指導	おやこ保健課	必要な人に対し保健師または助産師・社会福祉職・栄養士等が家庭訪問を行い、個々の状態に応じた保健指導や必要な援助を行っています。	実 5,088 人、延 6,702 人	継続	●	●	●							
I	b	6	4 か月児・1 歳 6 か月児・3 歳 6 か月児健診時の保健指導	おやこ保健課	①4 か月児健診では、第 1 子に対して離乳食などについて集団指導を実施しています。また、栄養士や保健師などによる個別の相談や保健指導も行っています。 ②1 歳 6 か月児健診及び 3 歳 6 か月児健診では、栄養士や保健師などが相談や保健指導を行っています。	令和 2 年よりコロナ感染拡大防止のため集団指導は実施せず、個別指導のみ実施。 個別指導数 4 か月児健診 173 人 1 歳 6 か月児健診 247 人 3 歳 6 か月児健診 104 人	継続		●								

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 （妊娠期）	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
I	b	7	健康相談	健康推進課 （旧コロナ健康支援課）	生活習慣病予防・歯・栄養など健康に関する相談に電話や面接で応じています。 ①面接相談（糖尿病等病態に応じた相談、歯科相談など） ②電話相談	700 回 1,807 人	継続				●	●	●	●	●	●	●
I	b	8	骨粗しょう症検査時の保健指導	健康推進課 （旧コロナ健康支援課）	40～70 歳の節目年齢の女性を対象に、個別の医療機関で骨密度測定を行っています。 ○エックス線での測定 ○超音波によるかかとの測定	骨密度測定 3,370 人	継続							●	●	●	●
I	b	9	訪問指導	健康推進課 （旧コロナ健康支援課）	保健師・歯科衛生士が家庭を訪問し、健康管理や療養方法に必要な事項を指導しています。	訪問 実 8 人 延 11 人	継続					●	●	●	●	●	●
I	b	10	特定健診	健康推進課 （旧コロナ健康支援課）	平成 20 年度より医療保険者に、被保険者及び被扶養者（いずれも 40 歳～74 歳）を対象とする健診・保健指導の実施が義務付けされました。豊中市国民健康保険加入者を対象に実施しています。	特定健診受診者数 12,032 人 受診率 26.8％ （令和 5 年度法定報告より）	継続							●	●	●	●
I	b	11	特定保健指導	健康推進課 （旧コロナ健康支援課）	特定健診を受診した結果、メタボリックシンドロームやその予備群と判定した人に対して、生活習慣を振り返り、その改善につなげるための特定保健指導を実施しています。	特定保健指導（終了者数） 動機づけ支援 215 人 積極的支援 19 人、 計 234 人 （令和 5 年度法定報告より）	継続							●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代										
								胎児期 （妊娠期）	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	
I	b	12	骨密度測定時の保健指導	保険給付課	健康展参加市民を対象に、市民が自己の健康管理をするための支援として骨密度測定及び保健師による指導を実施しています。	開催回数 1 回 参加者数 177 人	継続						●	●	●	●	●	●
I	b	13	人間ドック受診時の保健指導	保険給付課	人間ドック受診対象者に対し、医療機関が個別指導を実施しています。	人間ドック 1,907 人 脳ドック 158 人 セット(人間ドック+脳ドック) 874 人	継続						●	●	●	●	●	●
I	b	15	育児支援家庭訪問事業	こども支援課 子育て支援センター	児童の養育支援が必要でありながら、自ら支援を求めて行くことが困難な状況にある家庭に対して、家庭に訪問し育児に関する相談や助言等の支援を行っています。	育児支援家庭訪問回数 592 回	継続		●									
I	b	16	子育て支援センターの相談事業	こども支援課 子育て支援センター こども事業課	育児、食育、健康などについての相談指導（電話、面接、訪問、出前相談）を子育て支援センター・地域支援保育士が行っています。 公立こども園地域子育て支援センターでは相談（電話・面接）を、地域支援員が行っています。	ほっぺ相談件数 7,775 件 公立こども園地域子育て支援センター 相談件数 5,171 件	継続		●									
I	b	17	こんにちは赤ちゃん事業	こども支援課 子育て支援センター	生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、授乳状況など親子の心身の状況の把握、および助言を行います。また、子育てに関する情報提供を行います。	訪問対象者数 2,958 人	継続		●									

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
I	b	18	個人栄養食事指導事業	市立豊中病院栄養管理部	医師の指示による、疾病別の個人栄養食事指導を行っています。	医師の指示のもと、個人に即した栄養相談ができました。 指導人数 2,395 名	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	b	20	地域に開かれた幼稚園づくり事業での相談等	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園・豊中市認定こども園協議会加盟園	地域の子育て中の保護者を対象にした「子育て支援事業」（育児・教育相談など）を実施しています。	親子参加型の集まりを実施したり、地域の公園に出向いて交流を行ったりしている園もあります。保護者を対象にした「子育て支援事業」育児相談や地域貢献支援員（スマイルサポーター）を活用した地域向けの相談事業も実施しています。	継続		●								
I	b	21	育児相談・就学前相談	こども事業課	巡回時、幼児教育サポートセンターのサポーターによる相談を実施しました。	専門家による相談を随時実施しました。	継続		●								
I	b	21	育児相談・就学前相談	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園・豊中市民間保育園連合会加盟保育園・豊中市認定こども園協議会加盟園	専門家による相談事業を実施しています。	月1回または2回程度、キンダーカウンセラー・スマイルサポーターによる子育て相談を行っています。	継続		●								
I	b	22	ふれあい子育て相談	公立こども園・児童発達支援センター	子育てに関する電話相談と来所（園）による相談を行っています。	在園児と地域の子育て家庭対象に育児相談や発達相談を広報・実施しました。 （合計で 5,171 回実施）	継続		●								

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
I	b	22	ふれあい子育て相談	豊中市私立幼稚園連 合会加盟園・豊中市 民間保育園連合会加 盟保育園・豊中市認 定こども園協議会加 盟園	子育てに関する電話相談や来所 (園) による相談を行っています。	コロナ禍以降、中止もしくは回数を減 じて実施	縮小		●								
	b	23	電話・面接健康相談	一般財団法人豊中市 医療保健センター	(団体自主事業) 電話もしくは面接 で、健康に関する相談に対応してい ます。相談の対応は、医師会・歯科 医師会及び薬剤師会の会員が行い、 食育や口の健康に関する内容も相談 できます。市民健康展会場での相談 では、栄養相談の窓口も設けていま す。	8科目健康相談 実施回数 5 回 相談件数 40 件 14科目健康相談 (市民健康展にて実施) 実施回数 1 回 相談件数 96 件	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	c	3	食育推進のための安 全安心ハンドブック Ⅲの活用	健康推進課 (旧コロナ健康支援 課) 健康危機対策課	食中毒を予防し、安全で安心な食育 活動を継続的に行っていただくため に作成しました。地域のお祭りや、 イベントなどで模擬店を出店する とき、調理実習をするときなどに活 用できます。健康危機対策課と合同 で作成しました。	6月に実施した特定給食施設等研修会 (食中毒予防) に会場参加した21 施 設に配布しました。	完了 ・ 廃止	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期（妊娠期）	幼年期	少年期	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
I	c	4	インデックス付コンパクトサイズの『防災ガイド』の作成	危機管理課 健康推進課 （旧コロナ健康支援課）	自宅だけではなく、近所・遠方にあるときでも一定の災害対応が実施できるよう、「自助」をベースに災害対応をまとめた持ち歩き可能な啓発印刷物を作成し、配布しています。災害への備えなどをまとめた「準備編」、災害発生時の対応をまとめた「災害対応編」を掲載しています。	「防災ガイド」を 3,500 部配布	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	d	1	食育プラスワンシートの作成・配布	健康推進課 （旧コロナ健康支援課）	食育に関心のある人もない人も無理のない範囲で簡単なことから食育を実践してもらえるように、「ほんの少しの取り組みから始めましょう」という思いを込めてプラスワンシートを作成・配布しています。	他課からの依頼により、1,100 部提供しました。他、出前講座、健康教育時に 213 部配布、栄養相談時に案内し、希望者には配布を行いました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	d	2	食育プラスワンシートの活用	（一社）豊中市薬剤師会	「血糖値が気になる人のためのプラスワンシート」を市内薬局（薬剤師会会員 87 店舗）に設置するデジタルサイネージ内でいつでも簡単に閲覧できるようになっています。シートの内容について、疑問や質問などは、その場で薬剤師に相談できる環境を整えています。	2019 年以來 7 薬局に設置していたデジタルサイネージを令和 4 年 6 月、80 薬局に追加設置し、合計 87 薬局において、「糖尿病の食生活」という項目で「血糖値が気になる人のためのプラスワンシート」を掲載し、閲覧した市民が希望すれば、プラスワンシートに従い、薬剤師が服薬指導等を行うなどの取り組みを実施しています。今後も設置薬局を増設できれば、掲載内容もさらに充実させ、市民の健康増進に寄与したいと考えています。情報弱者とされる市民にも簡単に食育に関する取り組みを知っていただけるよう発信を続けていく予定です。	継続					●	●	●	●	●	●

基本 目標	基本 方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施 状況 R5	対象となる年代									
								胎 児 期 （ 妊 娠 期 ）	幼 年 期	少 年 期	16 ～ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
I	d	3	「食育月間」「食育の日」の啓発	健康推進課 （旧コロナ健康支援課） おやこ保健課	毎年6月を食育月間、毎月19日を食育の日として啓発を行っています。	食育に関する講座の中や、X（旧ツイッター）、保健所内での掲示により、食育月間・食育の日の周知を行いました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	d	4	食育コラボ～みんなで は・は・は	読書振興課・図書館	乳幼児向けに歯科衛生士によるお話と図書館職員によるおはなし会を行います。成人向けには口腔機能の講座と関連本の紹介を行います。関連本や絵本の貸出も行い、お口の健康に関する個別相談の時間も設けます。	おおむね0～3歳の子どもとその保護者を対象に、図書館職員による絵本のよみきかせと、歯科衛生士による子どもの歯の健康に役立つお話を行いました。子どもの歯や口のことで相談したいことや聞いてみたいことがある方向けに、個別の質問の時間も設けました。	継続		●			●	●	●	●	●	●
I	d	5	スポーツの日（体育の日）の事業	スポーツ振興課	スポーツの日の事業において、健康啓発等を実施をしています。	市民53名が参加し、新体カテストを行いました。	継続		●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	d	7	学校における「食に関する指導の全体計画」の策定	学校給食課	各校の定める「食に関する指導の全体計画」に基づき、各教科や給食の時間における食に関する指導など学校教育全体を通して、食育を推進します。	各校の定める食に関する指導の全体計画に基づき、食育の推進及び推進体制の確認を行いました。地区別（豊能地区）栄養教諭連絡協議会に参加し、各市町村の栄養教諭の課題共有及び解決に向けた交流連携を行い、食育全体計画の運用についての課題についての意見交換を行いました。	継続			●							
I	d	8	食育目標の作成	こども事業課	「豊中市食育推進計画」を踏まえた公立こども園の食育目標を作成。	公立こども園の食育目標を基に、各こども園の実態に即した食育目標を作成しました。	継続		●								

基本 目標	基本 方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施 状況 R5	対象となる年代									
								胎 児 期 （ 妊 娠 期 ）	幼 年 期	少 年 期	16 ～ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
I	d	9	子育て総合支援事業 「子育て・子育て支 援講座」	こども事業課 公立こども園	子育てや子どもの成長についての講 習会や専門講師による講演や親子ふ れあい遊びなどを実施しています。	子育て・子育て支援講座の内容の充実 を図りました。	継続		●								
I	d	10	在園児及び未就園児 の保護者向け講演会	豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園・豊 中市認定こども園協 議会加盟園 豊中市民間保育園連 合会加盟保育園	給食の試食を行い、その中で、栄養 士・教諭が給食の意義・給食で行う 指導について説明しています。	コロナ禍の影響で中止している園が多 いが、保育参加を実施し、給食の試食 を実施している園もあります。生活発 表会の時に、給食室からの時間を儲 け、保育園で大切にしている給食の内 容や家庭での食事のあり方など多岐に わたりお話をしている園もあります。	継続		●								
I	d	12	「食育年間計画」の 策定中	公立こども園、豊中 市私立幼稚園連合会 加盟幼稚園、豊中市 民間保育園連合会加 盟保育園・豊中市認 定こども園協議会加 盟園	「食育の年間指導計画」に基づき指 導します。	園の実際に即した「食育計画」「年間 計画」を策定し実施しています。	継続		●								
I	d	13	市民健康づくりフォ ーラム	健康推進課 （旧コロナ健康支援 課）	健康づくり推進員及び一般市民を対 象に健康に関する情報を伝える講演 会を開催しています。	健康づくり推進員の活動である全市事 業として市民向け講演会を実施しまし た。 2回開催、参加人数合計 119 人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 （妊娠期）	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅱ	a	1	離乳食講習会	おやこ保健課	離乳食に関する知識・情報の提供 ○会場 千里保健センター、中部保健センター、庄内保健センター ○回数 前期（ごっくんクラス）・後期（かみかみクラス） 年 24 回ずつ実施。	ごっくんクラス 実施回数 30 回 参加者数 361 人 かみかみクラス 実施回数 30 回 参加者数 174 人 （オンライン開催含む）	継続		●								
Ⅱ	a	2	幼児食講座	おやこ保健課	幼児食に関する知識・情報の提供 ○会場 千里保健センター、中部保健センター、庄内保健センター	1 月から参加型の講座を再開し、オンラインと併用。 ・オンライン幼児食講座 実施回数 6 回 参加者数 31 人 ・来所型幼児食講座 実施回数 2 回 参加者数 13 人	継続		●								
Ⅱ	a	3	「親と子の遊びのひろば」こぐま・いるかグループ	こども事業課	1 歳6か月から 3 歳の子どもとその保護者を対象に、人権を尊重した保育を基本に遊び提供・情報提供を行っています。その中で、保護者同士が子育ての楽しさを実感し、悩みを出し合う場をもち、こども園とともに地域の中でつながっていける子育て支援をしています。	各地域子育て支援センターで、4 回の連続講座として実施しています。1 歳6か月から 2 歳未満の子どもと保護者対象の「こぐまグループ」と 2 歳から 3 歳未満の子どもと保護者対象の「いるかグループ」に分けて実施しています。	継続		●								

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅱ	a	4	子育てに関する講座等の開催	こども支援課 子育て支援センター こども事業課	子育て支援センターでは子どもの育ちや健康・食育・かかわり方について等の話を提供することで、保護者にとっての育児不安の軽減や子育てに関する情報を得る機会としています。	子育て支援センターでは0歳の子どもと保護者対象のほっこりひろば・お話ししょう等で離乳食や食育の話を提供したり、南部分室にて離乳食講習会を開催しました。 自園調理のある18か所の公立こども園のうち16施設が実施しました。おやつ講座では作り方を学ぶだけでなく、食について技能員に相談する機会になっています。また、0歳サークルびよびよでの離乳食紹介でも技能員に相談できる機会になっています。	継続		●								
Ⅱ	a	5	給食・弁当時の指導	公立こども園	①食前食後の食事への感謝を指導しています。 ②食べ物を大事にすることを指導しています。 ③食事マナーを指導しています。 ④嫌いなものでも一口食べるなど、偏食改善を指導しています。 ⑤献立に使われた食材について話題にしています。	毎日実施。 食事前後のあいさつを通し、食べ物への感謝、食べ物を作ってくれる人への感謝、食べられることへの感謝を指導しました。給食の食材について話題にすること、配膳に関わることで食への興味を引き出します。 また、箸の使い方や食前の手洗い、食後の歯磨きなど食に係わる場面での生活指導を実施しました。	継続		●								
Ⅱ	a	5	給食・弁当時の指導	豊中市私立幼稚園連合会加盟・豊中市民間保育園連合会加盟 保育園・豊中市認定こども園協議会加盟園	①食前食後の食事への感謝を指導しています。 ②食べ物を大事にし、残さず食べることを指導しています。 ③食事マナーを指導しています。 ④嫌いなものでも一口食べるなど、偏食改善を指導しています。 ⑤献立に使われた食材について話題にしています。	左記の内容をもとに、コロナの状況に応じて対策や制限をしながら配膳の準備の手伝いや食前の手洗い・うがい、食後の歯磨きを含めて指導しています。コロナ禍のため、食事の際はパーティションの設置とできる限りの黙食の実施や、うがいのみの指導とした園もあります。	継続		●								

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅱ	a	6	摂食指導、栄養指導	児童発達支援センター・児童発達支援事業所あゆみ	①個々の摂食機能、食事の好みに合わせた食べ方、食べさせ方について、保護者に指導しています。 ②食に関する保護者からの相談にのっています。 ③保護者向けの食に関する講座を開催しています。	随時実施。	継続		●								
Ⅱ	a	7	給食	公立こども園	①こどもが、おいしく、安全に、楽しく食事することで、心身両面の発育を促しています。 ②季節の行事食を提供しています。 ③給食の配膳を児童が自ら行うように指導しています。	毎日実施。安全でバランスのとれた給食を提供し、様々な食材を食べる機会を提供します。給食に使用する野菜の皮むき・すじ取り・ごますり・和え物を仕上げる・おにぎりをにぎる・おやつ作りなどを経験したり、食材を見る・触る（特に季節の野菜）、厨房の見学等を楽しむことで、食への興味を持てるようにしました。	継続		●								
Ⅱ	a	7	給食	児童発達支援センター・児童発達支援事業所あゆみ	①障害特性に応じたメニュー、食形態の給食を提供しています。 ②個々に適した食形態への加工方法、食事介助について、保護者に体験していただいています。 ③共食体験等を通じて、食べることを楽しいと感じる心を育てています。 ④食事マナーを体得する場としています。	毎日実施。	継続		●								

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅱ	a	7	給食	豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園・豊 中市民間保育園連合 会・豊中市認定こど も園協議会加盟園	次のような工夫をして取り組んでいる園があります。 ①和食中心のメニューにしています。 ②食材そのものの美味しさを知ろう、出汁を利かせて薄味にしています。 ③ほぼ国産の食材で調味料にもこだわっています。また、手作りおやつを週5回提供しています。週1回の市販菓子も体に優しい天然のお菓子を使用しています。 ④日常の給食に保護者が参加できる機会を設けています。 ⑤週2回、自然農法の野菜を使用しています。	左記を大切に、バランスの取れた献立、季節の食材を使用し工夫している園があります。また子どもたちに、食前食後の食事への感謝や、食べ物を大事にし、残さず食べること・食事マナー等を指導している園もあります。嫌いなものでも一口食べるなど、偏食改善を指導したり、献立に使われた食材について話題にしたりしています。また、直接食材に触れ、皮むきなどのお手伝い活動や目の前で調理をみるルッキング、さらに子どもたちが調理するクッキングなど実施しています。栽培活動では、苗植えや田植え、収穫などに取り組んでいる園もあります。苗植えから子どもたちが手がけたトマトやキュウリなどを給食の食材として使う取り組みをしている園もあります。	継続		●								
Ⅱ	a	8	集会時の指導	豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園、豊 中市民間保育園連合 会加盟保育園・豊中 市認定こども園協議 会加盟園	朝食をゆっくり食べてから登園する、苦手なものでも一口食べるよう指導しています。また、正月のおせち料理や桃の節句の菱餅など「つどい」の時にクイズ形式で説明し、行事食に興味を持つようにしている園があります。	行事にゆかりのある食べ物の紹介も大切にし、指導にあたっては個人差をしっかり把握して、自信につながるよう対応しています。	継続		●								
Ⅱ	a	9	給食の試食と、給食に関する講演会	豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園、豊 中市民間保育園連合 会加盟保育園	保護者による給食の試食と、栄養士などによる講演会を開催しています。	コロナ禍のため中止した園が多いが、入園説明会などと併せて給食の試食会を開いている園もあります。	継続		●								

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期（妊娠期）	幼年期	少年期	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
Ⅱ	a	10	保育、教育の中で、調理体験、イベントなどの取り組み	公立こども園	①栄養素について学んでいます。②クッキングを体験しています。	絵本や 3 つの食品群のポスターなどにより栄養素について知る機会があります。菜園活動の収穫物によるクッキングなど年間を通じて随時実施しました。	継続		●								
Ⅱ	a	10	保育、教育の中で、調理体験、イベントなどの取り組み	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園、豊中市民間保育園連合会加盟保育園・豊中市認定こども園協議会加盟園	次のような工夫をして取り組んでいる園があります。自園で野菜の栽培・収穫を行っている。その野菜や園庭で出来た作物を使用し調理して味わう。みそ作り、梅干し作りなど季節に合わせた食育を行い、作る楽しさや食材への興味がわくような取り組みを行う。園外保育時に魚のつかみ取りを体験し、その場で捕まえた魚を焼いて味わう。	コロナ禍のため、調理体験は中止した園が多いが、工夫して簡単に調理出来るもののみで行ったり、感染予防に留意しながら、食育活動を少しずつ再開した園もあります。	継続		●								
Ⅱ	a	11	「食」に関する子育て講座	公立こども園（旧保育所）	こども園(旧保育所)給食をもとに、幼児食や手作りおやつ、食事の話などの講習を各園の技能職員が行っています。	地域の子育て家庭を対象におやつ講座を 17 回実施しました。	継続		●								
Ⅱ	a	12	赤ちゃんサークル「びよびよ」での離乳食講座	公立こども園（旧保育所）	こども園(旧保育所)給食をもとに、各園の技能職員が離乳食の講習を行っています。	自園調理ができる園と連携園で協力し、16 施設にて実施しました。	継続		●								
Ⅱ	b	1	子どもの居場所づくり文化クラブ「クッキング」	社会教育課（青少年交流文化館いぶき）	特定非営利活動法人北摂こども文化協会に事業委託。市内在住の児童生徒を対象に、専門講師が季節の果物や野菜をもとに、手作りおやつや食事の話などの講習及び調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。	「クッキング」実施回数 22 回 延べ参加者数 156 人。	継続			●		●	●	●	●	●	

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期（妊娠期）	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅱ	b	2	一年生給食開始事前指導	学校給食課	新1年生の給食開始に伴い、栄養士・調理員及び学校給食従事員が、児童の給食への関心を高めるために学校を訪問し、配膳作業の補助を行っています。	配膳作業の補助を小学校 29 校で実施 残り 11 校については各小学校で対応	継続			●		●	●	●	●	●	
Ⅱ	b	3	給食の試食と、給食に関する講演会	学校給食課 各小中学校PTA	保護者等による給食の試食と、栄養教諭等による講演会を開催しています。	小学校 14 校、中学校 13 校の団体について、学校及び給食センターで実施しました。	継続			●		●	●	●	●	●	●
Ⅱ	b	4	学校給食週間	学校給食課	「全国学校給食週間」と定められた1月24日～30日に、各地の郷土料理や世界の料理などを取り入れた特別の献立を出すことにより、改めて食に感謝する気持ちや食の大切さを考える取組みを行っています。	「全国学校給食週間」のうち、4日間を「豊中市学校給食週間」として、全小学校 38 校と 義務教育学校（前期課程）1 校で特別メニューを提供 全中学校では 16 校と義務教育学校（後期課程）1 校で 2 日間、特別メニューを提供	拡充			●							
Ⅱ	b	5	児童の社会見学の受け入れ	学校給食課	学校調理員、栄養教諭との交流を深め、給食ができるまでを見学することで関心を高めています。	小学校 6 校を受入れました。	継続			●							
Ⅱ	b	6	学校給食センター職員による学校訪問	学校給食課	学校給食センター職員が市内の公立小学校を訪問し、児童を対象に給食の話をしたり一緒に給食を食べたりすることで、交流を図っています。	希望する 22 校の学校への訪問を計 41 回実施しました。	継続			●							
Ⅱ	b	7	小・中学校における指導体制の充実	学校給食課	栄養教諭などを中心に学校での食育出前授業を行い、バランスのとれた食事指導を行います。	栄養教諭等の食育出前授業の案内を学校に周知し、出前授業を実施しました。	継続			●							

令和5年度 食育推進計画関連事業一覧

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅱ	b	9	給食センター食育イベント	学校給食課	少年期の子どもと保護者に給食センターで親子クッキング、センター探検隊を行い、給食の大切さや理解を深めてもらいました。	走井センターで7月21日と7月22日の2日間、レッツクッキングを開催しました。 両センターで8月3日と8月4日の2日間、探検ツアーを開催しました。	継続			●		●	●	●			
Ⅱ	c	1	アレルギー講演会	おやこ保健課	専門医師のぜん息・アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患について講話と小児科アレルギー専門看護師によるスキンケアの実演を行っています。また必要に応じ個別に保健指導を行っています。	4回開催 参加者数 54 人	継続	●	●	●							
Ⅱ	c	2	両親教室	おやこ保健課	初めての妊娠を迎える妊婦とパートナーを対象に、妊娠・出産・育児について学び、意見交換をします。助産師会に委託しています。	24 回開催 参加者数延 858 人（443 組） オンライン型、来所型で開催	継続	●									
Ⅱ	c	3	マタニティークラス	おやこ保健課	妊娠中の過ごし方について助産師・歯科衛生士・栄養士が講話と実習をします	11 回 38 人	継続	●									
Ⅱ	c	4	マタニティークッキング	おやこ保健課	妊娠中の食事と離乳食についての簡単な調理実習と試食。	1 月から参加型の講座を再開し、オンラインと併用。 ・講話と調理実演をオンラインにて実施 実施回数 4 回 参加者数 12 人 ・来所型 実施回数 2 回 参加者数 18 人	継続	●									

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅱ	c	5	ほのぼのママ教室	市立豊中病院栄養管理部	ほのぼのママ教室の3回シリーズの内1回で「食事バランスガイド」による妊娠中の食品摂取の目安及び、鉄分・カルシウムの不足予防などの理解を深めています。	コロナ禍のため教室はオンライン開催に変更となりました。 「妊娠中の食事」の情報提供は、WEB 媒体で継続しております。	継続	●									
Ⅱ	c	7	地区健康教室（出前健康教室）	健康推進課 （旧コロナ健康支援課）	健康に関するご希望のテーマを保健師、栄養士、歯科衛生士等が地域の会場に出向き、講演します。	健康教室 53 回 延 1,136 人	継続					●	●	●	●	●	●
Ⅱ	c	8	創造活動（不登校支援）プログラム「クッキング」	児童生徒課 （青少年交流文化館いぶき内）	不登校児童生徒を対象に、専門講師が季節の果物や野菜をもとに、手作りご飯や食事の話などの講習及び野菜の栽培、自家栽培による収穫物を使つての調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。	青少年交流文化館いぶき内 創造活動において「クッキング」プログラムを実施	継続			●							
Ⅱ	c	9	公民分館活動への支援	中央公民館 蛍池公民館 庄内公民館 千里公民館	公民分館による春秋講座運営に際して、情報提供や指導助言を行っています。	分館の春秋講座は 54 講座 96 回実施し、1,297 人が参加されました。食育関連としては、1 分館が「暮らしに漢方を取り入れよう講座」を 1 回実施し、20 人が参加しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅱ	c	10	糖尿病教室	市立豊中病院栄養管理部	糖尿病教室の5回シリーズの内1回で「糖尿病食事療法」を開催しています。	COVID-19 感染症の感染拡大のため、令和 4 年度は入院患者のみを対象にしましたが、令和 5 年度では外来患者への開催を再開しました。担当者会議では振り返りを行い、充実した内容で開催を重ねることができました。 累計：開催回数 46 回、参加人数 146 名	継続				●	●	●	●	●	●	●

基本 目標	基本 方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施 状況 R5	対象となる年代									
								胎 児 期 (妊 娠 期)	幼 年 期	少 年 期	16 ～ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
Ⅱ	○	11	慢性腎臓病教室	市立豊中病院栄養管理部	医師と合同で開催し、「慢性腎臓病の食事」の講義を担当しました。	令和4年度はCOVID-19感染症の感染拡大のため、開催を見送りましたが、令和5年度は日程を調整し開催しました。 累計：開催回数 1 回、参加人数 3 名	継続					●	●	●	●	●	●
Ⅱ	○	12	心臓病教室	市立豊中病院栄養管理部	心臓病教室の2回シリーズの内1回で「心臓病の食事について」を開催しています。	コロナ5類移行後も教室は再開せず。講義は動画化し、YouTubeで公開中。患者・家族に広く活用いただいており、入院中の患者にはDVDで視聴していただきました。	継続					●	●	●	●	●	●
Ⅱ	○	14	とよなか倶楽部（糖尿病患者の会）	市立豊中病院栄養管理部	糖尿病患者の会の一活動として、糖尿病食の講習及び調理実習を行い、糖尿病食への理解を深めています。	コロナ5類移行に伴い、活動を徐々に再開。患者の高齢化を勘案し、継続可能な事業へ変更。バス旅行、料理講習会は再開せず、新規事業として食事会を開催。外食時の食事の調整方法について当日料理を例に説明すると共に、「災害時の備え」についてミニレクチャー実施。総会・講演会は前年同様集合型で実施し、患者同士の交流や糖尿病への理解を深めていただいた。	継続					●	●	●	●	●	●
Ⅱ	○	15	糖尿病透析予防管理指導	市立豊中病院栄養管理部	糖尿病腎症の患者さんに対し、透析導入を予防するために医師・看護師と共にチーム医療で患者さんの指導にあたっています。	月1回、多職種連携で透析予防のための重点的な指導を行い、患者さんが必要な治療を1日で凝縮して受けることができ、療養意識を高める機会をつくることができました。オーダー数少なく件数は減少。累計：開催回数2回、参加人数3名	継続				●	●	●	●	●	●	●
Ⅱ	○	16	糖尿病性腎症重症化予防事業	健康推進課 （旧コロナ健康支援課）	Ⅱ型糖尿病で概ね糖尿病性腎症病期2～3期の対象に透析導入に至らないよう病態を維持、改善できるよう主治医の指示の下、栄養指導を主とした生活習慣改善指導や療養支援を実施しています。	医師会と連携し実施。保健指導プログラム参加者13名。未治療者及び治療中断者への受療勧奨実施。	継続							●	●	●	

令和5年度 食育推進計画関連事業一覧

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 （妊娠期）	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅱ	c	17	難病患者療養生活支援	医療支援課	難病患者の在宅療養生活の質の向上のために保健師や栄養士等が相談に応じています。	訪問、面接、電話で相談に応じています。 相談件数 延 2,987 件	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅱ	c	18	測定体験付き フレイル栄養相談会	健康増進課 （旧コロナ健康支援課）	18 歳以上の方を対象に、体組成測定、野菜摂取量測定、IC チップが埋め込まれた食品サンプルを用いた食事診断を行い、それらの結果を基に、フレイル予防の食事について、個別に栄養相談を実施しています。	3 会場で 2 回ずつ、合計 6 回実施。 参加人数 65 人	新規				●	●	●	●	●	●	●
Ⅱ	d	1	出前講座	広報戦略課	市民（団体）や学校等が主催する、食育や生活習慣病の予防（食事編）に関する講座に、講師（市職員）を派遣するほか、オンライン会議システムによる実施もしています。申込制。 また、一部のテーマについて、動画を公開しています。	年間講座実施数 95 件、 参加者数 4,512 人 うち食育関係テーマ 3 件実施	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅱ	d	2	地域への食育推進	健康推進課 （旧コロナ健康支援課）	食育への理解が進むよう、食育情報の提供や講師紹介、講師派遣を行っています。	地域に食育が浸透するよう、情報提供を行いました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅱ	d	3	水道出前教室	上下水道局経営部 経営企画課	小学4年生を対象に、水道水ができるまでの過程や、各家庭に水道水が配られる仕組みなどを、簡単な実験を行いながら説明します。 食の原点となる「水」への関心を深め、水道水が安全な飲み物であることを理解してもらうことがねらいです。	実験器具の貸出及び学習資料の提供を行い、視聴覚教材（局作成 YouTube 動画）の活用で教員の指導のもと、実験を実施していただきました。 実験器具の貸出し 29 校（40 校中）2,742 人 冊子のみ提供 11 校（40 校中） 989 人	継続			●							

令和5年度 食育推進計画関連事業一覧

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅱ	d	4	公民館 健康づくり推進事業	中央公民館 螢池公民館 庄内公民館 千里公民館	食育の推進、生活習慣病予防・改善、介護予防のための講座・講習会などを実施します。	健康づくり推進事業を 10 講座 16 回実施し、266 人が参加し、食育関連としては、「ヨーグルトのひみつ講座」を 1 回実施し、25 人が参加しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅱ	d	14	料理教室 (再掲：生活情報ひろば事業)	くらし支援課	とよなか消費者協会に委託し、くらしかん登録グループの協力を得て、料理講習会等を開催しています。	魚屋さんが教える魚のさばき方 参加人数 37 人 洋菓子教室 参加人数 20 人 無添加のみそ作り 参加人数 56 人 韓国料理へようこそ 参加人数 20 人 インドの家庭料理とお話 参加人数 21 人	継続					●	●	●	●	●	●
Ⅲ	a	5	保育、教育の中で交流体験機会の提供	公立こども園、こども事業課	①野菜や稲の栽培、収穫物による調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。 ②もちつき等の季節行事を催しています。 ③保護者に、実施状況を報告したり、参加・協力の場を設けることで、家庭への情報発信及び食文化の伝達や交流を行っています。	随時実施。	継続		●								
Ⅲ	a	6	世代間交流	豊中市社会福祉協議会	(市補助事業) 世代をつなぐ学習や交流を促進する場。いも掘り、もちつき、料理教室等を通して食文化の伝達と交流を行うプログラムを実施しています。	34 校区 163 回 延べ参加 22,208 人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅲ	a	7	ひとり暮らし高齢者の会食会	豊中市社会福祉協議会	(団体自主事業) みんなで会食をすることで、孤立感を防ぎ、仲間作りを行っています。	34 校区 280 回 延べ参加 7,578 人 ※テイクアウト方式やキッチンカー等を利用	継続									●	●

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅲ	a	8	ミニデイサービス	豊中市社会福祉協議会	(市補助事業) 虚弱高齢者を対象に手作りミニデイサービスを実施しています。食育に関する相談も行っています。	1 校区 11 回 延べ参加 110 名	継続									●	●
Ⅲ	a	9	子ども食堂	豊中市社会福祉協議会	(子どもの居場所づくり地域福祉モデル事業) 子どもの生活習慣づくりなど、孤食の予防と居場所づくりなど、食事の提供により健やかな子どもの成長と地域のセーフティネットの体制を図る。	食堂運営 5 校区 延べ参加 4,697 人 居場所として 4 校区 延べ参加 404 人	拡充			●							
Ⅲ	a	10	子ども見守り宅食事業	豊中市社会福祉協議会	コミュニティソーシャルワーカーが相談を受けている子育て世帯などを対象に見守り宅食や寄付食品による支援を通じて情報提供や生活支援を行う	46 回 (1,427 食) 164 世帯 延べ 947 世帯に配布	継続		●	●	●						
Ⅲ	a	12	就航都市料理講座	空港課、公民館	大阪国際空港就航都市との交流事業。郷土料理や地元の食材を使用した料理を作り、食の楽しさを学んでいただくとともに、食を通じたコミュニケーションを図っていただいています。	事業見直しのため中止	完了 ・ 廃止					●	●	●	●	●	●
Ⅲ	a	13	食事の提供	人権平和センター豊中	家庭環境等により、食事の支援を要すると判断したケースに、食事の提供を行っています。 人と一緒に食事をする事の楽しみ等を経験する機会を設けています。	こどもの学び・居場所事業（人権平和センター豊中） 食事の提供：6 回	新規			●	●						

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅲ	a	14	食事の提供	人権平和センター螢池	家庭環境等により、食事の支援を要すると判断したケースに、食事の提供を行っています。 人と一緒に食事をするこの楽しさ等を経験する機会を設けています。	こども多世代ふれあい事業（人権平和センター螢池） 食事の提供：10 回	新規			●	●						
Ⅲ	b	2	地域子ども教室	学び育ち支援課	各小学校区単位で実行委員会を設置し、週 1 回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取り組みを行います。 放課後子ども総合プランに基づき、放課後こどもクラブと連携し、子どもの居場所づくりの充実に取り組みます。	のべ 1,192 回実施、36,300 人の子どもの参加がありました。	継続			●		●	●	●	●	●	●
Ⅲ	b	3	青少年自然の家主催事業（宿泊事業）	社会教育課	市内の青少年を対象に、自然とのふれあい、人とのふれあいを通じて、自主性、協調性、創造性を養い、友情を培う場とします。（指定管理者に委託実施）	主に家族グループを対象とした野外活動の中で、薪や炭を使った野外炊事や、季節感を持ったメニューの提供に取り組みました。 対象別・実施内容（参加実人数） ○家族・グループ等 オープンフェスタ（秋 259 人、冬 49 人）、防災キャンプ（33 人）	継続			●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	a	2	菜園活動、調理体験	児童発達支援センター・児童発達支援事業所あゆみ	①園内にある畑で野菜等を栽培、収穫しています。②園でとれた作物や、給食の材料等を使って調理体験をしています。	随時実施。	継続		●								

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅳ	a	3	市民農園	産業振興課	①募集から斡旋、契約事務 ②苦情処理 ③栽培講習会 ④運営費助成事務等 ①～④の事業推進による農地の活用及び都市農業・食育の啓発をはかっています。	1区画約15㎡を23か月利用 20農園756区画	継続					●	●	●	●	●	●
Ⅳ	a	4	市民農業体験	産業振興課	市民にさつまいもやたまねぎを栽培する機会を提供することにより、豊中での「農のある暮らし」を実感してもらい、農業への理解を深めるとともに、都市農業・食育の啓発をはかっています。	・5月から10月 さつまいも栽培体験 (20世帯、63人) ・11月から3月 たまねぎ栽培体験 (20世帯、59人)	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	a	5	農業祭	産業振興課	年1回11月ごろに、農協等と実行委員会形式で実施しています。市内で栽培された野菜等の即売等による都市農業・食育の啓発を行っています。	第44回豊中市農業祭 令和5年11月25日(土) 豊島公園多目的広場 来場者数 約3,876人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	a	6	給食センターの見学の受入れ(市民向け)	学校給食課	給食センターの様子を見学し、学校給食への理解を深めています。	給食センターで23回施設見学を実施しました。	継続			●		●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期（妊娠期）	幼年期	少年期	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
Ⅳ	a	7	保育、教育の中で交流体験機会の提供	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園・豊中市民間保育園連合会加盟保育園・豊中市認定こども園協議会加盟園	農家と交流したり、魚のさばき方の見学をしている園もあります。魚や蛸をさばく様子を見て触れる、季節行事で梅干し・味噌・流しそうめん・干柿・もちつきなど行う、年齢に合った調理体験・収穫体験を行う、茶道体験を行う園もあります。	コロナ禍以降、取り組みを縮小している園が多いが、農家と連携し、苗植え、田植え、夏野菜収穫、稲刈り、芋ほりなど農業体験を自園で栽培した芋掘り体験や、それを使っておやつ作りを行う園もあります。栄養士が子どもの目の前で魚をさばくの、こどもが見学し、魚には骨がある事や、命を頂く意味について皆で考える取り組みをする園もありました。	継続		●								
Ⅳ	a	8	自然と親しむ事業	豊中市社会福祉協議会	（小地域ネットワーク事業（市補助事業）の1つとして実施）いも掘り等の土に親しむ事業を校区の実情に合わせて実施しています。	5校区 延べ参加 1,142人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	a	9	自然と親しむ事業	豊中市私立幼稚園連合会、豊中市民間保育園連合会・豊中市認定こども園協議会加盟園	遠足などの行事も活用し、いも掘り等の土に親しむ事業を地域の実情に合わせて実施しています。	コロナ禍以降、一部中止している園もあるが、各園の地域実情に応じて工夫し、ジャガイモやさつまいも、トマトやキュウリなどの栽培・収穫を体験しています。園外保育を実施し、自然に親しむ機会を多く取り入れ、合宿等で魚のつかみどりを行い、塩焼きにさせていただく取り組みをした園もあります。遠足などの行事も活用し、みかん狩り等の収穫体験をしている園もあります。	継続		●			●	●	●	●	●	●
Ⅳ	a	10	MY米づくり	NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	5月には種もみ、6月は苗3本を、作り方の説明や肥料とともに環境交流センターで配布。自宅で米作りをしてもらいます。	108人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本 目標	基本 方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施 状況 R5	対象となる年代									
								胎 児 期 （ 妊 娠 期 ）	幼 年 期	少 年 期	16 ～ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
Ⅳ	a	11	豊中あぐり事業	豊中市社会福祉協議会	市内土地を活用して農業を通じた男性の社会参加の場の取組み	会員 151 名 延べ参加 2,683 人	継続									●	●
Ⅳ	b	2	親子農業体験事業	豊中市社会福祉協議会	豊中あぐり事業農園における子ども野菜収穫・稲刈り・芋ほり体験	5 回 延べ参加 203 人	継続		●	●						●	●
Ⅳ	b	4	とよなか市民環境展	ゼロカーボンシティ推進課 NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21	豊中市（ゼロカーボンシティ推進課）・豊中市教育委員会・とよなか市民環境会議と共催。市民、事業者、行政の環境問題解決に向けての取り組みの発表・交流の場。概ね、11 月第 3 もしくは第 4 週に実施しています。	来場者数：2,391 人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	b	5	環境学習の推進	ゼロカーボンシティ推進課	事業者や大学と連携し、小学校へ自動車から学ぶ地球温暖化対策について環境学習を行いました。	1 校 3 クラス 75 名	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	b	6	市民による環境活動への支援（豊中アジェンダ 21 の普及・促進）	ゼロカーボンシティ推進課	「とよなか市民環境会議」の事務局として、ネットワーク組織としての活動、ならびに構成団体である市民団体・事業者が主体的に取り組む環境活動の促進を支援します。 また、「豊中アジェンダ 21」の推進組織である「NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21」が主体的に行う普及・啓発活動や実践活動を支援しています。	とよなか市民環境会議総会の開催（書面開催）参加団体数：94 団体	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅳ	b	10	フードドライブの実施	減量計画課	家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄りそれらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動。各種イベント等にて実施しています。	市内地域イベント等において8回実施し、合計206.4kgの食品が提供されました。 また、事業者との協働実施とし(株)ダイエー市内4店舗、生活協同組合コープこうべ市内3店舗、(株)光洋市内4店舗でフードドライブを実施しました。 合わせて総重量6338.4kgの食品が集まりました。	継続		●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	b	11	保育、教育の中で食の循環に関する取り組み	公立こども園	教育・保育の一環として行う野菜や稲の栽培時に、野菜くず・落ち葉を活用した堆肥を使うことで、ごみの減量に取り組むとともに、食の循環を体現し自然の恵みに感謝する気持ちを育んでいます。	季節折々の野菜や果物、稲の栽培を年間計画して取り組んでいます。落ち葉や給食の残さいを畑の肥料として利用し、収穫したものを給食の食材やクッキングに使用しました。	継続		●	●							
Ⅳ	b	11	保育、教育の中で食の循環に関する取り組み	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園、豊中市民間保育園連合会加盟保育園・豊中市認定こども園協議会加盟園	保育・教育の一環として行う野菜や稲の栽培時に、野菜くず・落ち葉を活用した堆肥を使うことで、ごみの減量に取り組むとともに、食の循環を体現し自然の恵みに感謝する気持ちを育んでいます。	保育・教育の一環として、野菜くずや給食の残飯からつくられる土「とよっぴー」の工場見学などを行い、畑でつくられている野菜の循環を学ぶ取組を行う園があります。園内で玉ねぎやさつまいもなどを育て、収穫を体験している園もあります。	継続		●	●							

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅳ	b	12	とよっぴー(生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食食材として使用する「食のリサイクル」の取り組み	学校給食課	とよっぴー(給食から出る生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食で使用しています。	全小学校 39 校の給食で使用	継続		●	●							
Ⅳ	b	13	みどりのカーテンづくり	公園みどり推進課	市民との協働により取り組みを進める豊中みどりの交流会において、小学校やこども園、授産施設等でみどりのカーテンづくり(ゴーヤの栽培)の取り組みを支援しています。収穫したゴーヤは、小学校等において食育として活用されています。	小学校 25 校 こども園・授産施設等 28 施設	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	b	14	緑と食品のリサイクルプラザ見学対応	公園みどり推進課、NPO 法とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	学校給食センターから出る調理くずや給食の食べ残しなどに公園や街路樹の剪定枝をチップ化したものを混合し、堆肥「とよっぴー」を製造する施設の見学者に対して、有機性資源循環の仕組みと食の重要性の啓発を行っています。	45 回、591 人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	b	15	堆肥化講習会	公園みどり推進課、NPO 法とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	家庭向け堆肥づくり講習会を行うことにより、生ごみの発生抑制・再資源化及び家庭菜園での堆肥活用を推進しています。	19 回、133 人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅳ	b	16	栽培講習会	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	有機性資源を活用した上手な野菜づくりの講習会を開催しています。	7回、88人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	b	17	講座型環境学習	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	生ごみの発生抑制や資源循環を推進するため、米づくり・食品ごみ・地産地消等をテーマに講座を実施しています。	27回、723人 (内4回、111人公園みどり推進課分含む)	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	b	18	食育フォーラム	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	栄養など食事の内容だけではなく、どこでどう育てられたも含めて食べ物に関する正しい知識を得るための講座を実施しています。	1回 14人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	b	19	農体験学習	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	①希望する小学校等に出向いて、主に4年生・5年生を対象に、野菜の植え付け・収穫、お米づくりなどの農体験学習を実施しています。②親子や児童・生徒等に対して、「とよっぴー農園」において、野菜の植え付け・収穫等の農体験学習を実施しています。	①農体験学習（小学校等）：21回、783人（すべて公園みどり推進課分） ②農体験学習（とよっぴー農園）：63回、1160人（内52回、1,119人 公園みどり推進課分含む）	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅳ	b	20	とよっぴーフェスタ	公園みどり推進課、 NPO 法人とよなか 市民環境会議アジェ ンダ21・花と緑の ネットワークとよな か	学校給食の食べ残しなどから堆肥 「とよっぴー」を作っている「緑と 食品のリサイクルプラザ」の見学や 「とよっぴー」で育てたサツマイモ 掘りなど、食と農及び資源循環につ いて楽しく学べる様々なイベントを 実施しています。	604 人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	b	21	とよっぴー展	公園みどり推進課、 NPO 法人とよなか 市民環境会議アジェ ンダ21・花と緑の ネットワークとよな か	堆肥「とよっぴー」の製造に関する パネル展示や糶すり機等の農機具、 給食の食べ残しなどのパンの実物展 示等を行っています。	228 人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	b	22	とよっぴー倶楽部	NPO 法人とよなか 市民環境会議アジェ ンダ21・花と緑の ネットワークとよな か	(団体自主事業) 市の堆肥化事業の市民応援団を組織 し、有機性資源の活用を推進してい ます。年会費 1,000 円で、主に堆 肥「とよっぴー」の頒布日に受け付 けています。また、年4回のニュー スレターを発行・郵送しています。	38 人	継続					●	●	●	●	●	●
Ⅳ	b	23	生ごみ堆肥化容器等 助成	公園みどり推進課、 NPO 法人とよなか 市民環境会議アジェ ンダ21・花と緑の ネットワークとよな か	家庭での生ごみの堆肥化活動を支援 するため、堆肥化資材の提供や容器 等の購入費の助成をしています。	ダンボール資材：24 件 密閉バケツ：0 件 コンポスト：2 件 電動処理機：7 件	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 （妊娠期）	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅳ	b	24	堆肥「とよっぴー」 使用野菜等の学校等 給食提供	公園みどり推進課、 NPO 法人とよなか 市民環境会議アジェ ンダ 21・花と緑の ネットワークとよな か	豊中市内の農家の協力をいただき、 市で製造した堆肥「とよっぴー」を 使って育てた米や野菜を小学校等の 給食に提供することで、資源循環の 啓発及び地産地消の取組みを推進し ています。	104 回、4 種類	継続			●							
Ⅳ	b	26	収穫祭での調理体験	学校給食課	小学校校区内で収穫された野菜を収 穫し、その食材を使っでの調理体験	走井センターで 1 校の学校で地域の 農家の方をお招きし、2 日間にわたり 実施しました。	継続			●							
Ⅳ	c	1	豊中市農業経営者協 議会との協働による 都市農業の振興	産業振興課	①部会ごとに事業を実施していま す。 ○指導者部会－協議会の基本事項等 について協議。 ○研究部会－豊中まつり、農業祭に おいて新鮮野菜を安価で販売。市民 農園技術指導、農業講座等を実施。 ②上記事業を実施している協議会と の連携・協働による地産地消の推 進、都市農業・食育の啓発を行って います。	・学校給食副食用野菜の出荷 12 農 家 ・市民農園の技術指導 令和5年 4 月 16 日（日）10 農園で実施 ・豊中まつり、農業祭、ふれあい緑地 フェスティバル、定期開催朝市 9 か 所における豊中市産野菜の直売 ・農業先進地技術交流会 令和6年 1 月 17 日（水）実施 行先：タキイ種 苗(株) 滋賀県近江八幡市（参加者 2 9 名）	継続					●	●	●	●	●	●
Ⅳ	c	2	地産地消	くらし支援課	地産地消の推進を目的に、くらしか ん登録グループ主催で市後援事業の 一環として地産地消イベントを実施 しています。	地産地消イベントは市後援事業として 12 回	継続					●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅳ	c	3	堆肥「とよっぴー」 使用野菜等の頒布	NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか	地産地消の推進を目的に、くらしかん（第2水曜日）やさわ病院（第4木曜日）、環境交流センター（第1土曜日）などで、市で製造した堆肥「とよっぴー」を使って育てた野菜等を頒布しています。火曜日には環境交流センターにてある時あるだけ野菜市として「とよっぴー」農園の野菜を販売しています。	69 回、1,522 人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	c	5	桜井谷あおぞら朝市	桜井谷あおぞら朝市運営委員会	（団体自主事業） 桜井谷地域を中心にした地場野菜等を販売する朝市を毎月第 1,3 土曜日（7 月、8 月は毎週）午前 9 時（夏期は 8 時半）から JA 大阪北部桜井谷支店駐車場で開催しています。	・ JA 大阪北部桜井谷支店駐車場で毎月第 1,3 土曜日（7,8 月は毎週）に開催。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	c	6	コラボ朝市	地域連携課 産業振興課	市内農業者の協力を得て、地産地消を通して、市民交流の場づくりと千里地域の賑わいづくりに向けた取り組みの一つとして、豊中市産野菜等の直売会を毎月第3水曜日に開催しています。	毎月第3水曜日午前10時から千里文化センター「コラボ」で開催しました。 通年12回開催、参加人数は延べ1,035人	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
V	a	1	①「にこりちゃん歯科健診」 ②「パパ・ママ歯科相談」	おやこ保健課	1歳6か月児健診の結果ハリスと判定された幼児とその保護者を対象に、個別相談や健診を、3会場で実施しています。	①②R5年度より再開 ①年18回 対象者数918人 受診者数349人 ②年18回 受診者数108人 (再掲)妊婦人数10人	継続		●			●	●	●			
V	a	2	歯科健診時の保健指導	おやこ保健課	歯科医師や歯科衛生士による相談や保健指導を行っています。	歯科医師や歯科衛生士による相談や保健指導を行いました。	継続		●			●	●	●			

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期（妊娠期）	幼年期	少年期	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
V	a	3	歯科健診の実施	こども事業課 学務保健課	虫歯の早期発見、受診勧告を目的とした歯科健診を実施しています。	全園児・児童生徒に実施しました（年1回）。	継続		●	●							
V	a	3	歯科健診の実施	豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園、豊 中市民間保育園連合 会加盟保育園・豊中 市認定こども園協議 会加盟園	虫歯の早期発見、受診勧告を目的とした歯科健診を実施しています。	年に1回、または2回、園医による歯科検診を実施しています。	継続		●								
V	a	4	歯みがき指導	公立こども園各保育 所、豊中市私立幼稚 園連合会加盟幼稚 園、豊中市民間保育 園連合会加盟保育 園・豊中市認定こ ども園協議会加盟園	2歳児の歯磨きが始まる9月に合わせ、昼食やおやつ後に、年齢に応じた年齢に応じた歯のみがき方、歯の大切さを伝えています。	保護者に、文書による啓発をしている園が多いが、飛沫防止に配慮しながら歯磨きを実施する、感染予防のためうがいのみ実施する園もあります。	継続		●								
V	a	5	歯科健診、歯磨き指導	児童発達支援センタ ー・児童発達支援事 業所あゆみ	①歯科健診 ②歯科衛生士による歯磨き指導 ③保護者への講話、相談対応 ④給食後の歯磨き ⑤保育の中での歯磨き指導	①児童発達支援事業所あゆみ 1回 児童発達支援センター 1回 ②児童発達支援センター 1回 ③随時実施 ④毎日実施 ⑤随時実施	継続		●								
V	a	7	歯の保健巡回指導	(一社)豊中市歯科医 師会 豊中市学校歯科医会	児童が歯の健康に関する知識と関心をもち、歯の健康の維持と病気の予防を実践できる能力を身につけることを目的とし、歯科衛生士専門学校の協力のもと、2年サイクルで市立全小学校に保健巡回指導を実施しています。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止	中止			●							

基本 目標	基本 方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施 状況 R5	対象となる年代									
								胎 児 期 (妊 娠 期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
53	V	b	1	すくすくよい歯の教室	おやこ保健課	乳幼児期の歯科保健に関する知識の普及、啓発(講話・健診)。3会場で実施しています 予約制。13 年度より内容を見直し、1 回 2 日制に変更しましたが、15 年度より、内容を維持しつつ、受講者の利便性を考え、1 回 1 日制に変更しました。	継続		●								
	V	b	2	「歯や口の健康づくりハンドブック」	健康推進課 (旧コロナ健康支援課)	歯や口の健康づくりについて、介護予防を中心におおむね壮中高年を対象に情報提供と普及啓発をおこないます。	継続						●	●	●	●	●
	V	b	3	「歯や口の健康づくり教室」	健康推進課 (旧コロナ健康支援課)	30 歳以上の市民を対象に、歯や口の健康づくりについて学びます。歯周病菌の活動度や口腔機能を体験しながら検査や機器で調べます。歯周病についての個別指導や、集団での口腔機能訓練を兼ねた音楽療法等を行います。令和 3 年度からは 1 会場 2 回シリーズで開催。令和 3 年からは「高齢者の保健事業を介護予防の一体的実施」のハイリスクアプローチとしても実施。	継続						●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
V	b	5	「口とからだの健康教室」 よい歯の集い（令和元年度まで）	(一社)豊中市歯科医師会、 豊中市学校歯科医会	口腔衛生の啓発を目的に、歯と口の健康週間（6月4日～10日）にちなんで、小学校を会場に、啓発イベント、学校歯科医による講演、歯科医を講師とする特別授業参観等を実施。	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、開催中止	中止	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
V	b	6	よい歯の高齢者 8020 表彰	(一社)豊中市歯科医師会	80 才以上で 20 本以上歯のある市民を対象に公募。29 年度より豊中市立文化芸術センターに会場を変更し、受賞者を一同に会し表彰式を開催しています。	表彰式典を再開しましたが、安全面などから式典対象者を少人数に限定。その他の受賞者へは郵送による表彰をおこないました。受賞者 223 名。	拡充										●
V	b	7	よい歯のコンクール	(一社)豊中市歯科医師会	大阪府主催の「全大阪よい歯のコンクール」の地区審査会をおよこ保健課と協力し、3 歳半健診を受診した幼児と保護者を対象にコンクールを実施しています。	令和 5 年度より再開。中止前と同様の規模にて実施することができました。	拡充		●								
V	b	8	豊中市民健康展	(一社)豊中市歯科医師会	豊中市医師会・豊中市薬剤師会とともに主催。歯科ブースでは歯科健診、歯磨指導、フッ素塗布などを実施しています。	新型コロナウイルス感染拡大防止の策を講じながら、歯科ブースではパネル展示、動画放映をおこないました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
VI	a	1	血管プロジェクト (減塩の周知啓発)	健康推進課 (旧コロナ健康支援課)	H29 年度から 4 年計画で、毎年テーマを設定し、血管を守るための施策を展開。関心のある人だけでなく、関心のない人にも健康行動を誘発するポピュレーション・アプローチを実施します。H29 年度からのテーマ：「減塩」	豊中市ホームページ内の減塩協力店ページ掲載店を拡大しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

[illegible]

基本目標	基本方針	事業等		所管	内容	令和5年度 実績※	実施状況 R5	対象となる年代									
								胎児期 (妊娠期)	幼年期	少年期	16 ～ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
Ⅵ	b	2	子育てサークルの育成	こども支援課 子育て支援センター	地域の人材を活用し子育てボランティアの育成・支援を行い、その力を地域に広げています。	年齢別の居場所（ほっこりひろば）等において、ボランティアグループが活動しました。	継続		●								
Ⅵ	b	3	子育て・子育てネットワークづくり	こども支援課 子育て支援センター	地域子育て支援センター、地域支援保育士が中心になってコミュニティーソーシャルワーカーとともに各小中学校区の地域活動を支援するために、関係機関や団体との連携を図りネットワークづくりを進めています。	地域福祉ネットワーク会議（こども部会）校区連絡会を全 41 校区で開催しました。	継続		●								
Ⅵ	b	4	公民館登録グループ活動支援	中央公民館 蛭池公民館 庄内公民館 千里公民館	①料理グループなどに活動場所の確保を行っています。 ②グループ活動成果の社会還元として、グループ体験講習会への支援および公民館講座への講師登用を行っています。	登録グループの体験講習会を 59 講座 74 回実施し、食育関連としては、『家庭料理の会 シャンゼリゼ』の体験講習会を 1 回実施し、7 人が参加しました。	継続			●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅵ	b	5	男女共同参画推進活動への支援	人権政策課	（指定管理者（一財）とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理） グループ・団体活動の情報収集・提供、自主グループ活動育成・支援、グループ活動活性化のための講座の開催、すてっぷ登録団体助成金交付、グループ活動リーダー養成、ワークスペース・機器等の提供、交流ネットワークの機会提供、ネットワーク協議会の組織化などを行っています。	事業は実施しましたが、食育に関する取組みはありませんでした。	継続				●	●	●	●	●	●	●

※事業等の番号について、令和 4 年度以前の事業実績が「完了・廃止」になっているものについては載せていません。そのため番号が飛んでいる場合があります。

※「公立こども園等」と、「豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園・豊中市民間保育園連合会加盟保育園・豊中市認定こども園協議会加盟園」は同一事業名のため番号は同じになっています。

令和 5 年度(2023 年度)

第 3 期豊中市食育推進計画年次報告書

令和 6 年（2024 年）1 1 月

豊中市 健康医療部 健康推進課

〒561-0881 豊中市中桜塚 4-11-1

TEL 06-6858-2879 FAX 06-6152-7328